

社会科学学習指導案

日 時 令和2年8月28日(金) 5校時
児 童 湧別町立湧別小学校5年1組 25名
指導者 土谷 亮祐

1 単元名『北方領土 ～今の自分たちにできることは?～』

2 単元の構想

これまでの社会科では、『わが国の国土の様子』『米作りのさかんな地域』『水産業のさかんな地域』といった内容を学習してきている。それらの学習を通して、複数の資料を関連させながら、社会的事象について考える力を高めてきた。しかし、米作りの学習では、生産者や消費者、販売者などといった、さまざまな立場から考えることを苦手とする児童が多くいた。今後の社会科では、多角的に社会的事象について多角的に考える力を高めていく必要がある。

また、本単元で扱う『北方領土』については、場所と島の名前が一致する程度の理解しかない。北方領土問題が、いつから続いているのか、具体的にどのような問題なのかということについては、全く理解がない。よって、本単元では、北方領土の歴史、元島民の思い、ロシアとの関係性について学び、北方領土問題について正しく理解させたいと考えている。

学習指導要領解説社会編 第3節 第5学年の目標及び内容 1第5学年の目標(2)には以下のように書かれている。

(2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

この目標と児童の実態を基に、本単元では、『さまざまな立場から社会的事象について考え、起きている問題等について正しく理解する力』を付けさせたい。それと同時に『北方領土の問題に対して正しく理解して、自分たちにできることを考えること』をねらいにしていきたい。

本単元では、特に多面的・多角的に考えることを大切にして学習していく。そこで、日本や元島民の思いだけに触れるだけではなく、北方領土には3世代にわたって島に住む家族もいることなどにも触れていく。ロシア側からも考えることにより、不法占拠だけの問題ではないことに気付かせていく。多面性においては、ロシアが北方領土にこだわる理由を考える際に、豊かな漁場としての魅力だけではなく、第2次世界大戦おける勝利の象徴としての意味合いもあることについても気付かせていく。

子供たちの思考や表現を支える資料は、『教科書』『北海道新聞の記事』『武蔵村山市の北方領土について理解を深める学習資料』を用意する。これまでの学習で身に付けてきた資料を関連付けて考える力を発揮しながら、北方領土問題についての理解を深めさせていきたい。

単元の終末には、自分たちにできることを考えていく場面を設定する。日本が粘り強く交渉していることを忘れないことが大切という思いを膨らますことで、子供たちの中に『湧別町に住む人たちにも伝えたい。』という目的意識をもたせたいと考えている。そして、町内の施設に協力していただき、より多くの人に広げられたことを実感することで、北方領土に対する思いを強めていきたい。

3 単元目標

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・北方領土が、我が国の固有の領土であり、現在は不法に占拠されていることを理解している。 ・北方領土に住むロシアの人の思いを理解し、北方領土が抱える問題を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・北方領土の問題について、多面的・多角的に考えることができる。 ・複数の資料を関連付けながら、北方領土の問題について考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで北方領土問題について考えて、学習したことをまとめて湧別町の人たちに伝えようとしている。

4 指導計画

	主な学習活動
1	<p>北方領土に関心をもったり、元島民のおかれた状況を理解したりするために、DVD『ジヨバンニの島』を鑑賞して、自分の考えをまとめる。</p> <p style="text-align: right;">【主体的に学習に取り組む態度】【知識・技能】</p>
2	<p>北方領土が我が国の固有の領土であることを理解するために、『武蔵村山市の北方領土について理解を深める学習資料』を使い、時系列で出来事を整理していく。</p> <p style="text-align: right;">【知識・技能】</p>
3 本時	<p>ロシアがなぜ不法な占拠を続けるのかなど理解するために、さまざまな面から北方領土について考えたり、北方領土に住むロシアの人の思いを考えたりする。</p> <p style="text-align: right;">【思考・判断・表現】</p>
4	<p>日本が粘り強く交渉していることを忘れないことが大切という思いを膨らますために、今の自分たちにできることはなにかを考える。</p> <p style="text-align: right;">【主体的に学習に取り組む態度】</p>
5	<p>自分たちが学んだことを表現する力を高めるために、目的に合わせて必要な内容を考えたり、表現様式を選択したりする。</p> <p style="text-align: right;">【思考・判断・表現】</p>
6 ・ 7	<p>自分たちの思いを実現するために、ポスターやチラシに学んだことをまとめて、町内の施設に設置する。</p> <p style="text-align: right;">【主体的に学習に取り組む態度】【思考・判断・表現】</p>

5 本時の目標

- ・複数の資料を関連させながら考えることで、ロシアがなぜ不法な占拠を続けるのか理解することができる。 【思考・判断・表現】
- ・北方領土問題において、これから心配されることは、日本が交渉していること自体忘れられてしまうことだということに気付くことができる。 【知識・技能】

6 本時の展開（2/5）

過程	教師の働きかけ	児童の活動	評価規準及び留意事項
導入	<ul style="list-style-type: none"> ロシアがなぜ不法なのかを問い、課題を生み出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 前回の北方領土の学習をノートでふり返り、友達に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ロシアの不法性に目を向けさせることにより、ロシアが北方領土にこだわる理由を知りたいという、子供たちの思いを引き出し、課題に結び付けていく。
展開	<ul style="list-style-type: none"> 交流の意図は、何かを明確に伝える。 子供の交流の様子を見ながら、ねらいに迫る適切な問い直しをしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料をもとに、自分の考えをまとめる。 お散歩交流をする。 全体交流をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 子供たちの考えが水産資源を根拠とする考えに偏っていた時には、国土の面積を提示して、ロシアの漁場の広さを感じさせることで、違う面に目を向けさせる。 ロシアの住む家族が3世代にわたってきていることや元島民の高齢化を示すことで、本当の問題は何かを考えさせる。 日本が、ずっと粘り強く交渉していることを情報として伝えることで思考を促す。
終末	<ul style="list-style-type: none"> 新聞記事を使って、学びの視点を切り替える。 	<ul style="list-style-type: none"> 北方領土の本当の問題点は何かを考える。 北方領土について、考えたことをふり返り、ノートにまとめる。 	<p style="text-align: center;">【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多面的に捉えた理由や忘れないうことの大切さという視点を踏まえながら、自分なりの北方領土に対する考えをノートにまとめている。

ロシアは、なぜ北方領土を手放したくないのだろうか？

ロシアは、水産資源の面だけではなく、戦争勝利の象徴でもあるから、北方領土にこだわっている。

【評価規準】

- 多面的に捉えた理由や忘れないうことの大切さという視点を踏まえながら、自分なりの北方領土に対する考えをノートにまとめている。

ロシアにとっては「勝ち得た土地」

樺太半島、上笠から望む北方領土。手前から納沙布岬、齒舞群島の水島島、志保島、多摩島と、雪化粧した色丹島
=2016年11月（本社機から小笠原規撮影）

北方領土はロシア化が進んでいる

「ロシアはどても大きな国なのに、向で北方領土を奪ったんですか？」。函館市の小学4年、会津終介君（9）の疑問です。社会の授業で領土問題を学んだそう、うです。古くから日本人が住んでいた国後、択捉、色丹、歯舞の北方四島は75年前の第2次世界大戦末期に、ソ連（今はロシア）に占領されました。

ロシアは日本の面積の約45倍もある世界で最も広い国なのに、なぜ北方領土が必要だったのでしょうか。会津君は疑問に思い、「島は自然が豊かなので、いろいろな魚が捕れるからうらやましかったのかな」と考えました。

では、北方領土の歴史を調べてみましょう。もともと北方四島とその北側にある千島列島にはアイヌ民族の人たちが住んでいました。そこにラッコの毛皮などを求め、南から日本人、北からロシア人が入ってきて、争いが生じます。そのため、日本とロシアは江戸時代の1855年に択捉島とその北側のウルップ島との間に国境線を引き、これを決めました。


択捉島
面積 3168平方*。(63%)
人口 6485人
2014年に全天候型の新空港と新埠頭（ふ頭）、15年に文化・スポーツの大型複合施設が完成

国後島
面積 1490平方*。(30%)
人口 8619人
17年に連水プールを備えたスポーツ施設が完成。高速インターネット回線も新たに開通（択捉島、色丹島にも）

色丹島
面積 251平方*。(5%)
人口 3198人
14年に新病院が開業。17年にロシアの新型経済特区を設置。国境警備隊が駐留

歯舞群島
面積 95平方*。(2%)
人口 約100人
国境警備隊を除き、住民はいない

*面積の（ ）は北方領土全体に占める割合。人口はロシアの統計による。2019年1月現在



北方領土に関する日本とロシアの主な動き

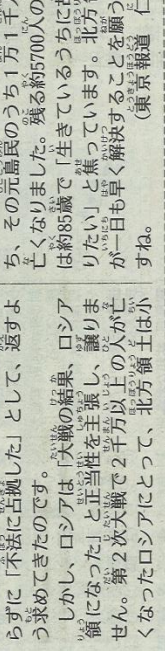
1855年	日本とロシアが日露通商条約で、初めて国境線を決める。歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島は日本の領土に
1945年	ソ連が日ソ中立条約を守らずに日本との戦争に参加。北方四島を占領
56年	日ソ共同宣言で、両国の戦争状態が終わる。平和条約を結んだ後に、ソ連が歯舞群島と色丹島を日本に引き渡すとした
93年	日ソ首脳が東京宣言に署名。四島が解凍。ロシアは「平和条約を結ぶことを確認」とちらの国のものかという問題を解決して、平和条約を結ぶことを確認
2018年11月	安倍首相とプーチン大統領が、1966年の日ソ共同宣言を基礎に話し合いを進めることで合意
20年	ロシアで憲法改正。他の国に領土を追加譲り渡すことを禁止する条文を追加

方7千人の日本人は強制的に追い出され、島を追い出された日本人の元島民は各地に散らばりましたが、多くは島が戻る根拠市に移り住んでいます。戦後75年がたち、その元島民のうち1万1千人以上が亡くなりました。残る約5700人の平均年齢は約85歳で生きています。北方領土問題に焦っています。北方領土問題が一日も早く解決することを願うばかりです。ね。

北方領土問題を解決するため、安倍首相とロシアのプーチン大統領は2018年11月、「平和条約締結後に歯舞群島と色丹島を日本に引き渡す」と書かれた1966年の「日ソ共同宣言」を基礎に話し合いを進めていくことを約束しました。

しかし、残念ながら交渉は進んでいません。日本とロシアの主張が対立していることに加え、ロシアが自分の領土を守る姿勢をさらに強めているからです。1日の国民投票でロシアの憲法改正

後、島民の中心部になる広場を建設する計画が発表された。2020年12月20日



2020年12月20日

北方領土問題を解決するため、安倍首相とロシアのプーチン大統領は2018年11月、「平和条約締結後に歯舞群島と色丹島を日本に引き渡す」と書かれた1966年の「日ソ共同宣言」を基礎に話し合いを進めていくことを約束しました。

しかし、残念ながら交渉は進んでいません。日本とロシアの主張が対立していることに加え、ロシアが自分の領土を守る姿勢をさらに強めているからです。1日の国民投票でロシアの憲法改正



2020年12月20日
後、島民の中心部になる広場を建設する計画が発表された。

北方領土問題を解決するため、安倍首相とロシアのプーチン大統領は2018年11月、「平和条約締結後に歯舞群島と色丹島を日本に引き渡す」と書かれた1966年の「日ソ共同宣言」を基礎に話し合いを進めていくことを約束しました。

しかし、残念ながら交渉は進んでいません。日本とロシアの主張が対立していることに加え、ロシアが自分の領土を守る姿勢をさらに強めているからです。1日の国民投票でロシアの憲法改正

が決まり、「領土を他の国に譲り渡してはいけない」という条文が追加されました。日本に島を返してもうことがより難しくなると心配されています。

ただ、ロシアは日本の隣国であり、問題は一日も早く解決する必要がある。まずは今回の質問のように、相手の国の考え方にも興味を持ち、日本とロシアの国民が互いに理解を深めていくことが、解決の第一歩になると思っています。

(モスクワ駐在 小林宏彰)

四島にロシア人が住むようになると70年以上がたち、一家3世代以上の家族もいます。そこで生まれ、学校に通い、（ロシア）サハリンスク駐在 細川伸哉

北方領土問題を解決するため、安倍首相とロシアのプーチン大統領は2018年11月、「平和条約締結後に歯舞群島と色丹島を日本に引き渡す」と書かれた1966年の「日ソ共同宣言」を基礎に話し合いを進めていくことを約束しました。

しかし、残念ながら交渉は進んでいません。日本とロシアの主張が対立していることに加え、ロシアが自分の領土を守る姿勢をさらに強めているからです。1日の国民投票でロシアの憲法改正

北方領土問題を解決するため、安倍首相とロシアのプーチン大統領は2018年11月、「平和条約締結後に歯舞群島と色丹島を日本に引き渡す」と書かれた1966年の「日ソ共同宣言」を基礎に話し合いを進めていくことを約束しました。

しかし、残念ながら交渉は進んでいません。日本とロシアの主張が対立していることに加え、ロシアが自分の領土を守る姿勢をさらに強めているからです。1日の国民投票でロシアの憲法改正

今回は別なテーマで、12日に掲載します。

北方領土問題を解決するため、安倍首相とロシアのプーチン大統領は2018年11月、「平和条約締結後に歯舞群島と色丹島を日本に引き渡す」と書かれた1966年の「日ソ共同宣言」を基礎に話し合いを進めていくことを約束しました。

しかし、残念ながら交渉は進んでいません。日本とロシアの主張が対立していることに加え、ロシアが自分の領土を守る姿勢をさらに強めているからです。1日の国民投票でロシアの憲法改正

北方領土問題を解決するため、安倍首相とロシアのプーチン大統領は2018年11月、「平和条約締結後に歯舞群島と色丹島を日本に引き渡す」と書かれた1966年の「日ソ共同宣言」を基礎に話し合いを進めていくことを約束しました。

しかし、残念ながら交渉は進んでいません。日本とロシアの主張が対立していることに加え、ロシアが自分の領土を守る姿勢をさらに強めているからです。1日の国民投票でロシアの憲法改正

ロシアはどても大きな国なのに 何で北方領土を奪ったんですか？

■ どうしん電子版 <北方領土が分かる！>

■ ソイッター <北海道新聞「日口取材チーム」>

北海道新聞「日口取材チーム」は、日本とロシアの最新ニュースや過去の連載記事などを、どうしん電子版の専用ページ<北方領土が分かる！>や、ソイッター<北海道新聞「日口取材チーム」>で発信しています。

ソイッター <北海道新聞「日口取材チーム」>で発信しています。

